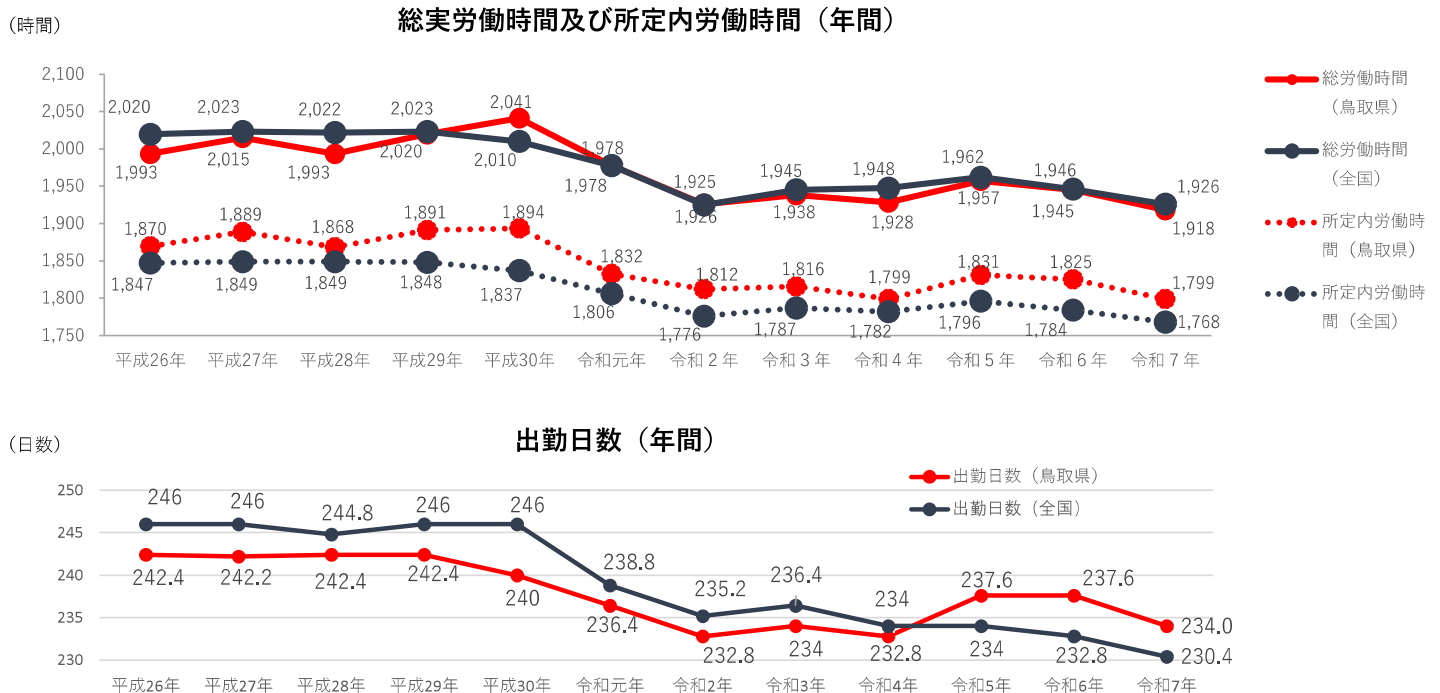


働き方改革推進の現状

1 労働時間・出勤日数

働きやすさの現状

○ 鳥取県における一般労働者の総実労働時間及び所定内労働時間は、平成30年以降減少傾向が続いている。出勤日数は令和5年から全国を上回っている。



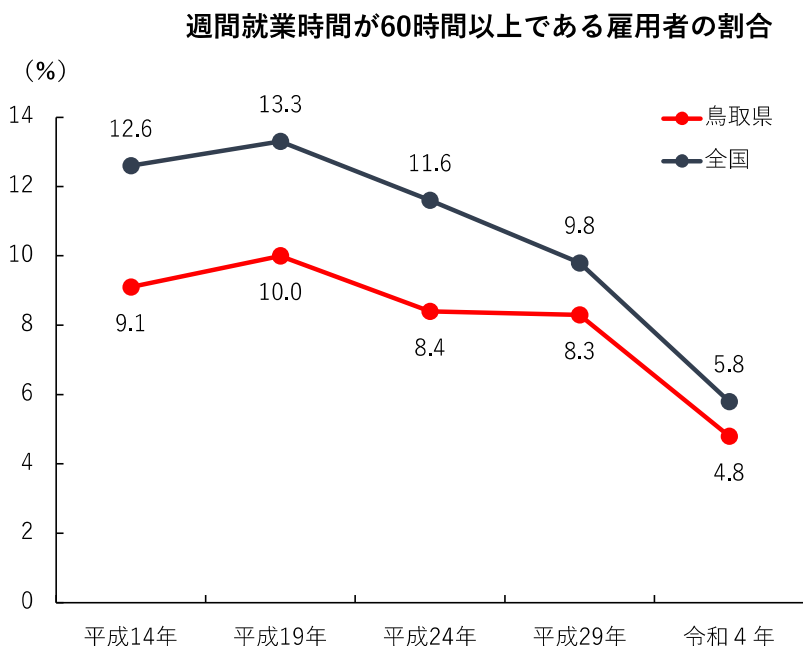
(注) 事業所規模 5 人以上。
労働時間、出勤日数の各数値は各年の平均値を12倍したもの。
出勤日数は実際に出勤した日であり、就業規則上の労働日ではない。

資料出所：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

2 週60時間以上働く雇用者の割合

働きやすさの現状

○ 鳥取県の雇用者のうち、週60時間以上働く者の割合は全国を下回っており、減少傾向。
全国的にみても長時間労働の割合は低い。



週間就業時間が60時間以上の雇用者が少ない都道府県

1位	秋田県	沖縄県	3.6%
2位	新潟県		3.9%
3位	富山県		4.2%
4位	鹿児島県		4.4%
5位	鳥取県	大分県 島根県 山形県	4.5%
	全国		5.7%

(注) 雇用者全体に占める割合であるため左記のグラフとの数値の差がある

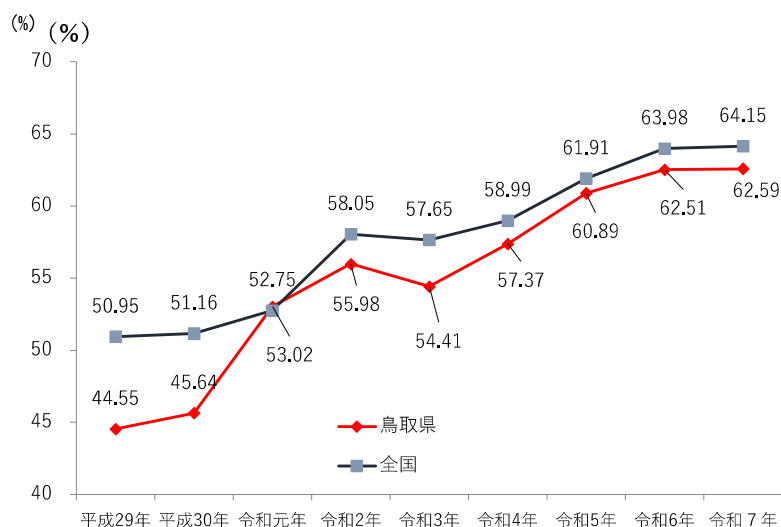
(注) 年間就業日数が200日以上雇用者。

資料出所：総務省「就業構造基本調査」

3 年次有給休暇の取得率

働きやすさの現状

- 鳥取県の中小企業の令和7年の年次有給休暇取得率は62.59%(全国は64.15%)。
- 令和元年に50%を超え、その後も上昇傾向。



年次有給休暇付与日数等 (令和7年)

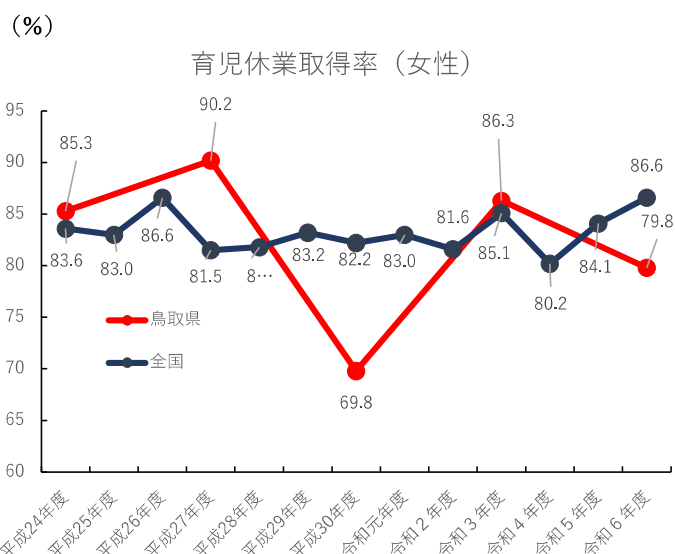
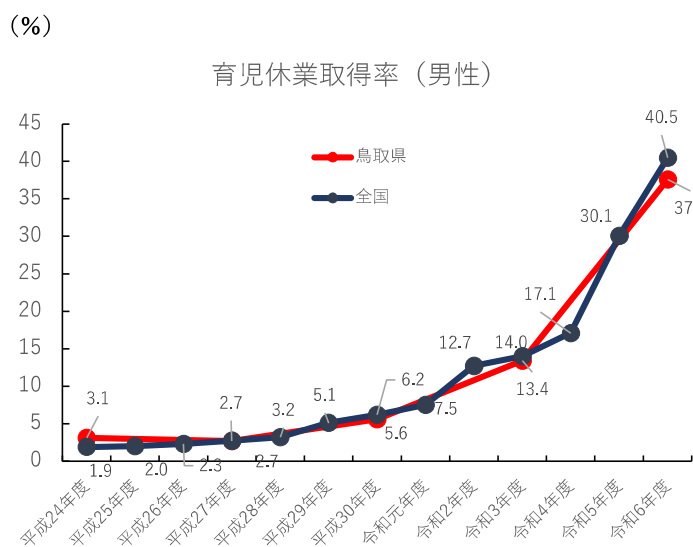
	平均付与日数	平均取得日数	取得率
鳥取県	16.80	10.26	62.59%
製造業	17.23	11.47	66.72%
非製造業	16.52	9.46	59.87%
全国	16.37	10.00	64.15%

資料出所：鳥取県中小企業団体中央会「鳥取県中小企業労働事情実態調査報告書」

4 育児休業の取得率

働きやすさの現状

- 令和6年度の鳥取県の育児休業取得率は、女性 79.8%、男性37.6%。
- 男性の取得率は上昇しているが、男女間の差は大きい。



資料出所：鳥取県「令和6年度鳥取県職場環境等実態調査」

※対象期間：各前年度

厚生労働省「雇用均等基本調査」

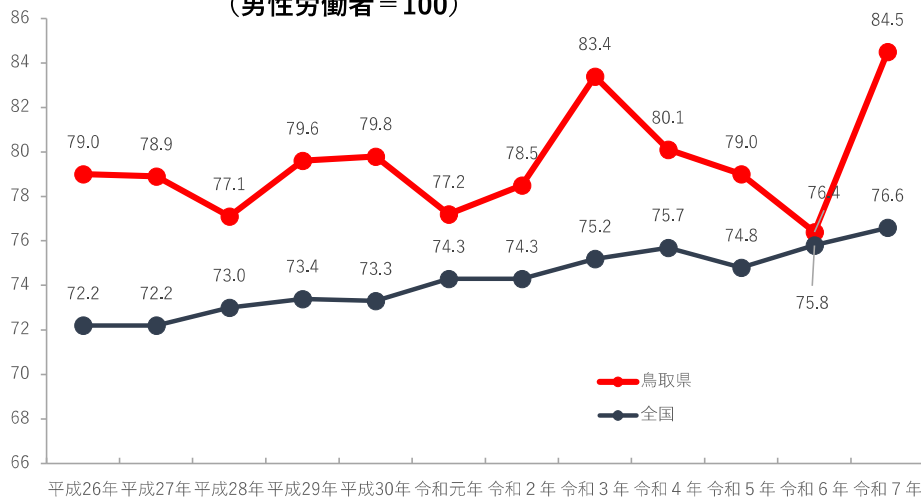
※対象期間：10/1～翌年の9/30

5 男女の賃金差異

働きやすさの現状

- 男性の所定内給与を100とした時の女性の所定内給与は、鳥取県は84.5(令和7年)となっており、前年に比べ男女の賃金差異が大幅に小さくなっている。

女性（一般労働者）の所定内給与額
(男性労働者 = 100)



男女の賃金差異が少ない
都道府県

(男性労働者 所定内給与 = 100)

1位	沖縄県	86.1
2位	鳥取県	84.5
3位	岩手県	82.0
4位	島根県	81.7
	全国	76.6

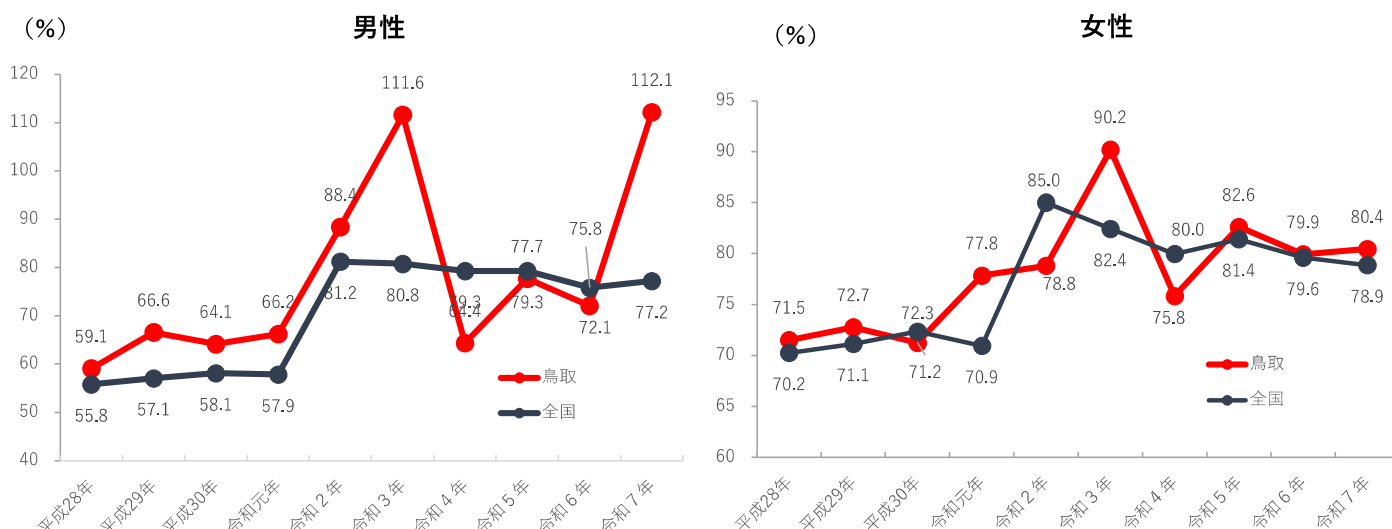
資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

6 パートタイム労働者と一般労働者の賃金格差

働きやすさの現状

- 短時間労働者の1時間当たり所定内給与額を一般労働者と比較すると、その差は徐々に減少している。
- 女性については、令和元年度以降、格差が縮小している。

短時間労働者の1時間当たり所定内給与額（一般労働者 = 100）

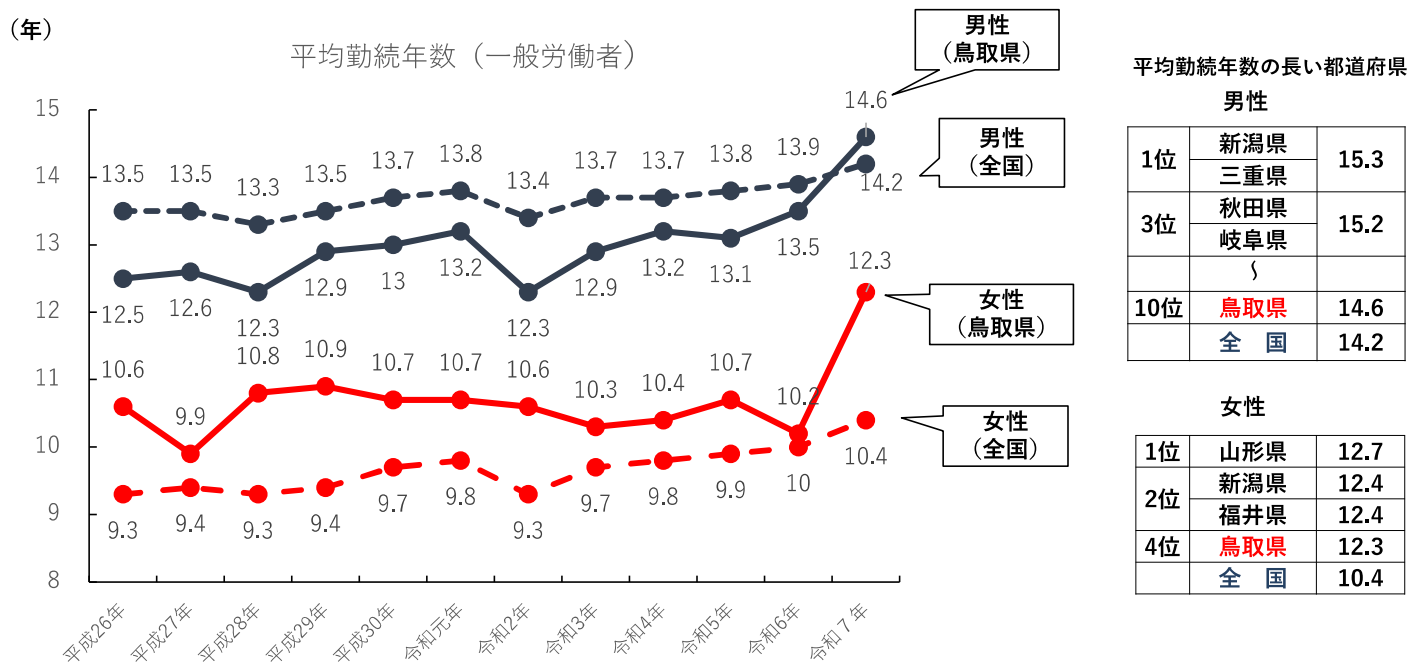


資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

7 平均勤続年数

働きやすさの現状

○ 鳥取県の平均勤続年数は男女ともに全国平均より長くなっている。

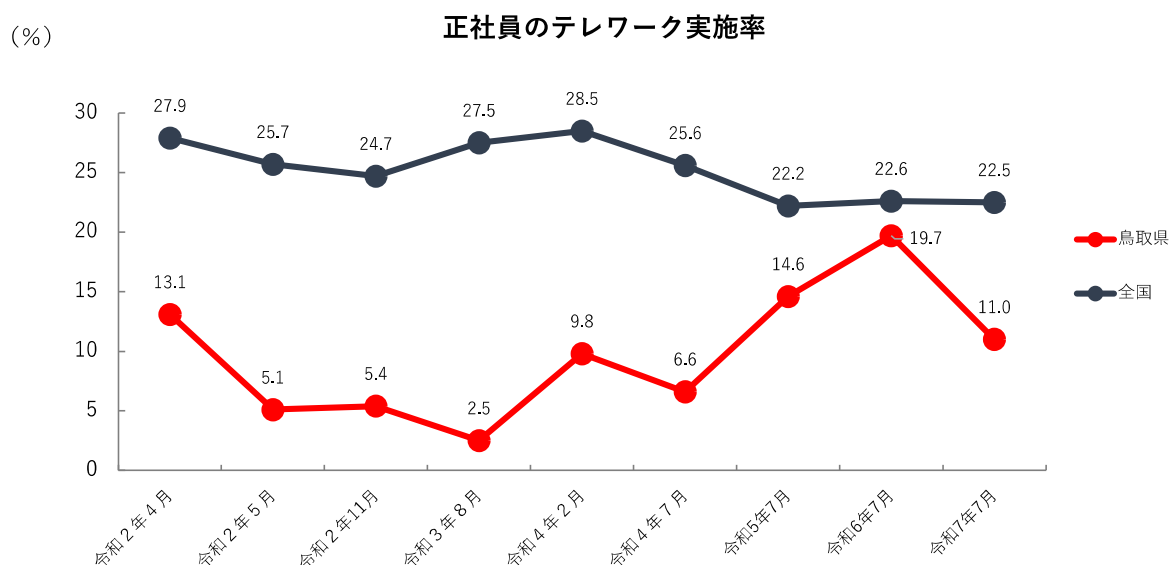


資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

8 テレワーク実施率

働きやすさの現状

○ 鳥取県のテレワーク実施率は11.0%(全国平均22.5%)。



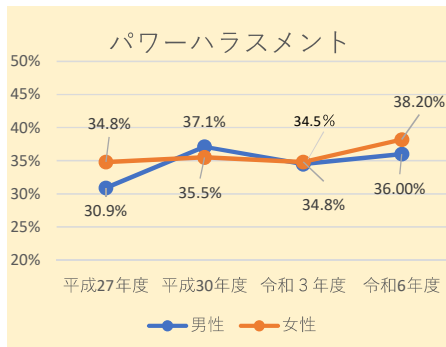
資料出所：パースル総合研究所ニュースリリース

9 ハラスメントの状況

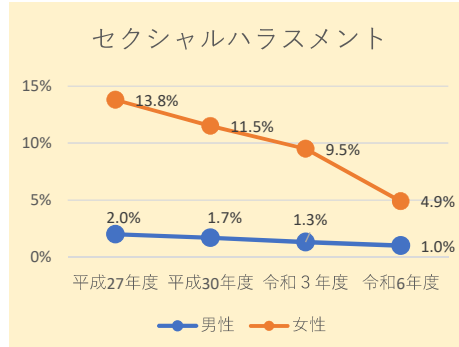
働きやすさの現状

- 職場でパワーハラスメントが「あった」「あったと思う」と回答した従業員の割合は35%程度で横ばい。
- 職場でセクシャルハラスメントの被害を受けたと回答した女性従業員の割合は令和6年度は4.95%で、減少傾向。

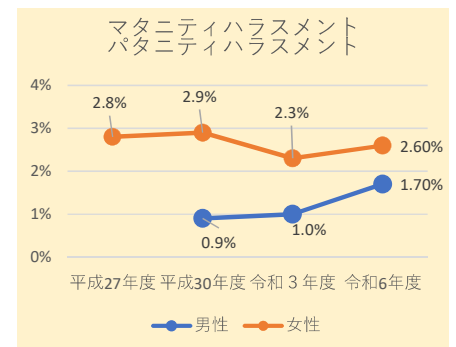
【ハラスメントの被害状況】



(注) 職場でハラスメントが「あった」「あったと思う」と回答した従業員の割合。



(注) 職場でハラスメントを受けたと回答した従業員の割合。



(注) 職場でハラスメントを受けたと回答した従業員の割合。

資料出所：鳥取県「令和6年度鳥取県職場環境等実態調査」

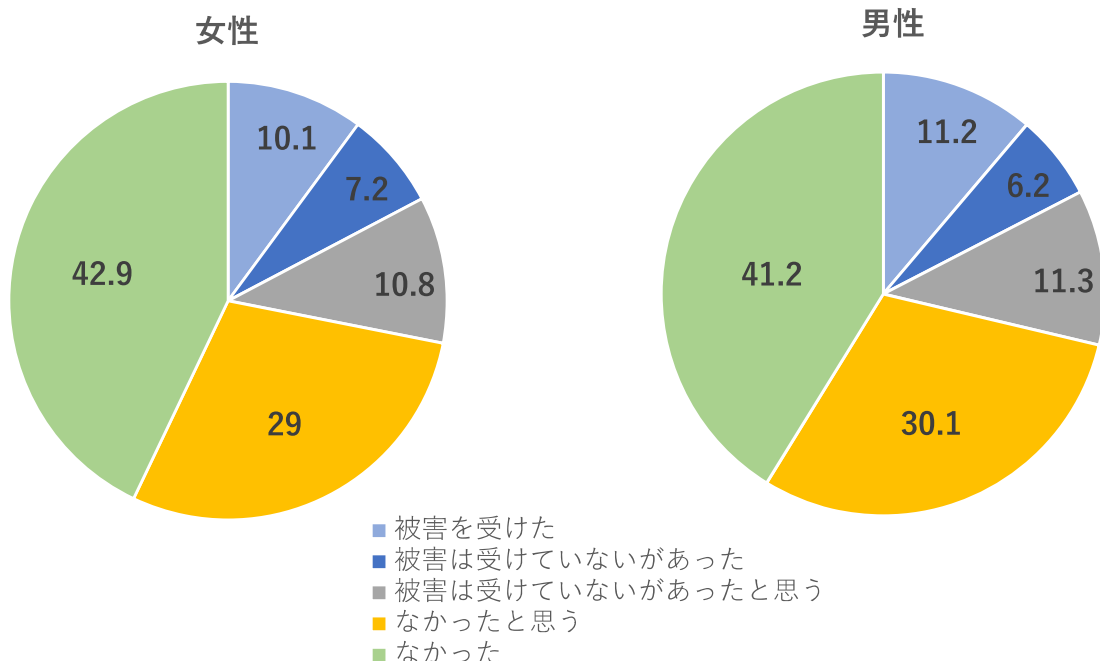
【労働局における相談対応状況】

相談内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
いじめ・嫌がらせ	443	508	726	702	259	329	202
セクシュアルハラスメント	91	50	69	82	70	45	73
妊娠・出産・育児等ハラスメント	53	19	15	12	14	25	53
パワーハラスメント	—	—	292	405	488	541	690

10 カスタマーハラスメントの状況

働きやすさの現状

○カスタマーハラスメントの被害について、「被害を受けた」、「被害は受けていないががあった」、「被害は受けていないががあったと思う」とする割合が、女性は28.1%、男性は28.7%となっており、約3人に1人が被害に遭ったり見聞きしている。



資料出所：鳥取県「令和6年度鳥取県職場環境等実態調査」

11 労働局の企業認定状況（くるみん・えるぼし・ユースエール・もにす）

働きやすさの現状

○ 子育て支援、女性活躍、若者の採用・育成、障害者雇用について優良な取組を行う認定企業が増えている。

子育て
支援

【くるみん・プラチナくるみん認定企業】

県内認定企業数

くるみん認定企業 33社
うちプラス認定企業 2社
プラチナくるみん認定企業 2社

うち令和7年度新規認定企業数
くるみん認定 4社
プラチナくるみん認定 1社
くるみんプラス認定 1社



若者の採
用・育成

【ユースエール認定企業】

県内認定企業数 19社
うち令和7年度新規認定企業数 8社



女性
活躍

【えるぼし・プラチナえるぼし認定企業】

県内認定企業数

えるぼし認定企業 17社
プラチナえるぼし認定企業 1社

うち令和7年度新規認定企業数
えるぼし認定 5社



障害者
雇用

【もにす認定企業】

県内認定企業数 5社



令和8年7月24日現在

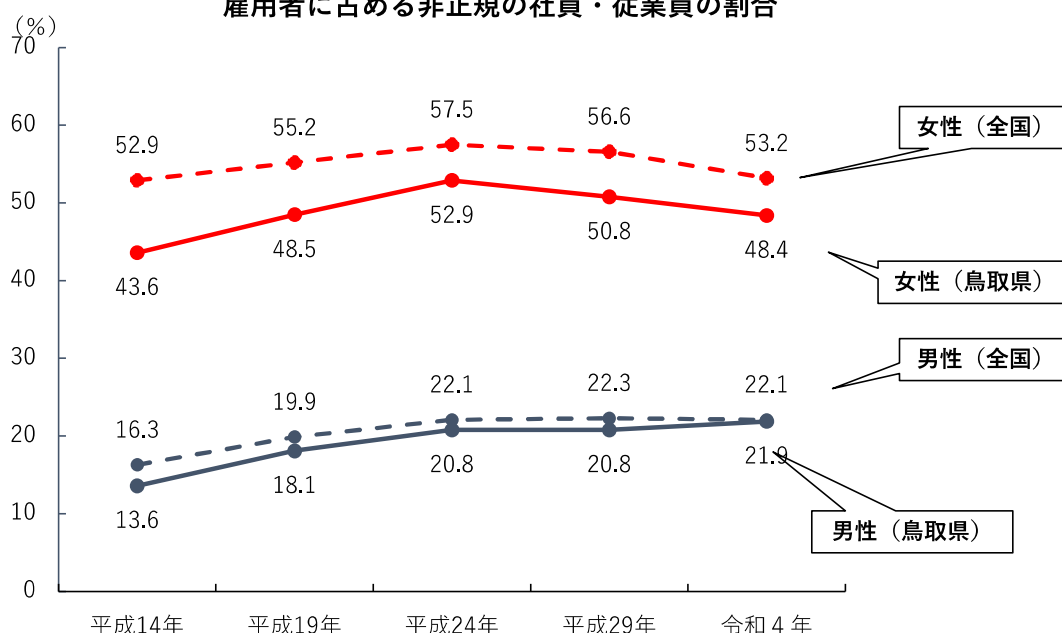
資料出所：鳥取労働局

12 非正規雇用労働者の割合

多様な人材の活躍状況

○ 鳥取県の非正規雇用労働者の割合は、男性で2割程度、女性で5割程度となっており、全国平均を下回っている。

雇用者に占める非正規の社員・従業員の割合



非正規雇用労働者の割合が低い都道府県

女性

1位	山形県	44.4
2位	東京都	45.4
3位	富山県	46.1
4位	徳島県	46.5
	}	
8位	鳥取県	48.4
	全国	53.2

男性

1位	香川県	18.8
2位	愛媛県	19.2
3位	新潟県	19.3
4位	富山県	19.9
	}	
26位	鳥取県	21.9
	全国	22.1

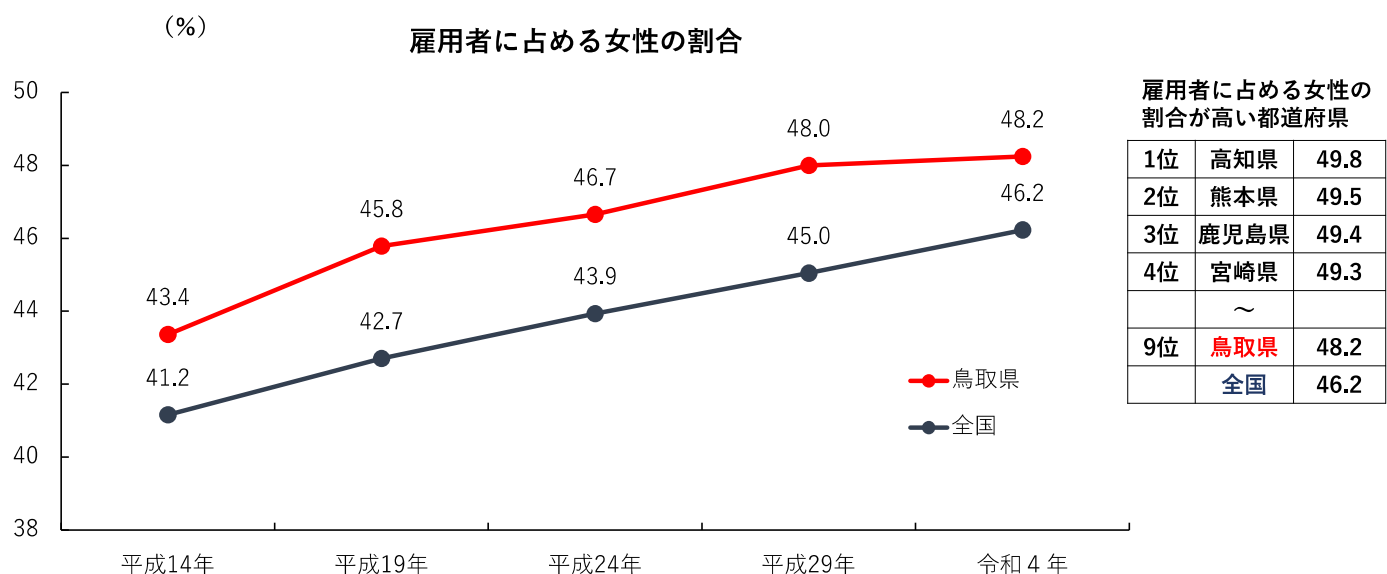
（注）雇用者は役員を除く。

資料出所：総務省「就業構造基本調査」

13 雇用者に占める女性の割合

多様な人材の活躍状況

○ 鳥取県の雇用者に占める女性の割合は全国を上回っており、その割合は年々高まっている。

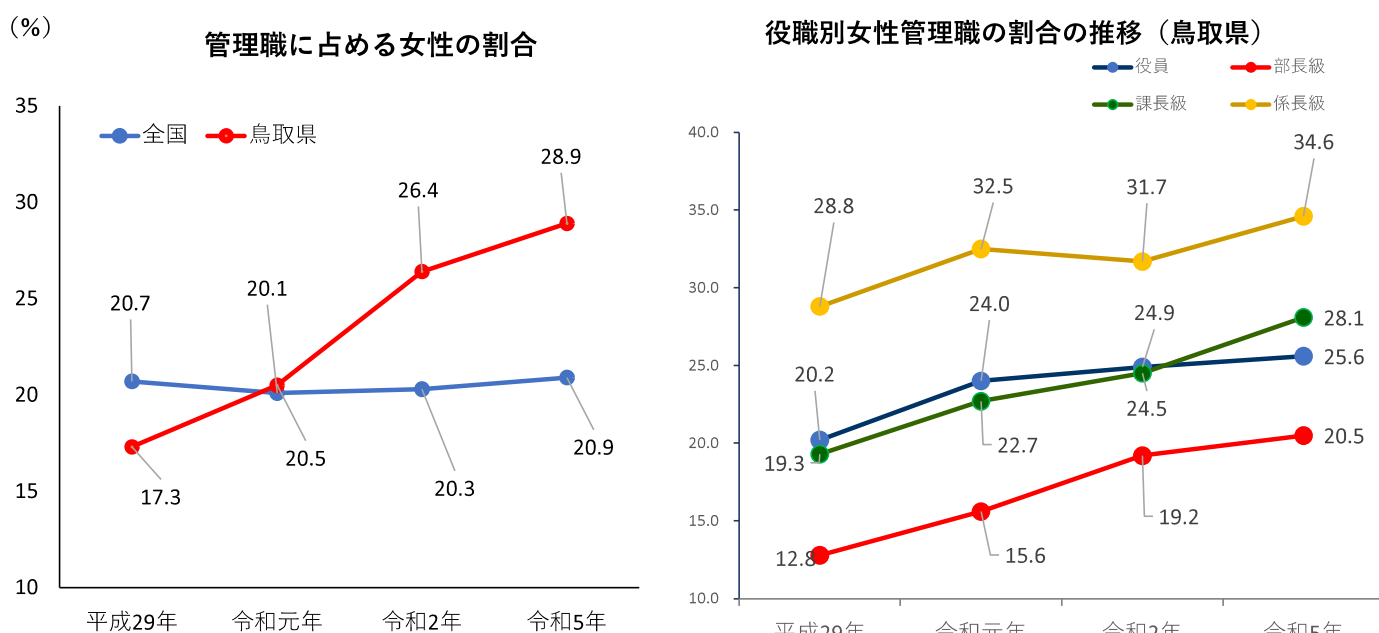


資料出所：総務省「就業構造基本調査」

14 管理職に占める女性の割合

多様な人材の活躍状況

○ 鳥取県の管理職に占める女性の割合は年々高まって全国を上回っている。



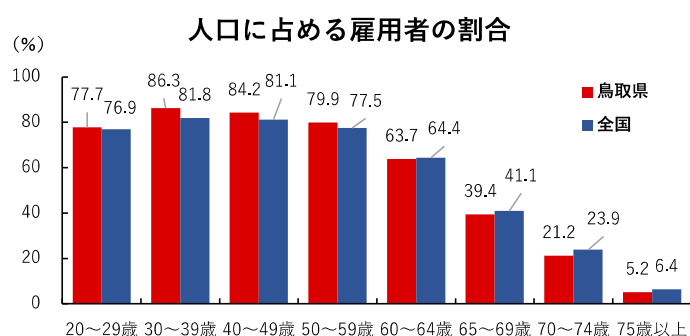
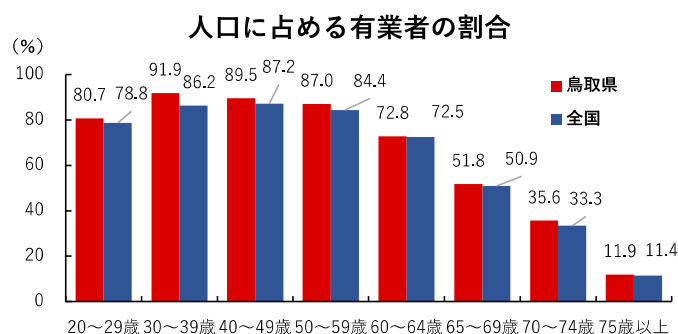
※管理職とは、課長級以上の管理職と役員を含む
※従業員数10人以上の事業所

資料出所：鳥取県「企業の女性管理職登用等実態調査」
全国「雇用均等基本調査」

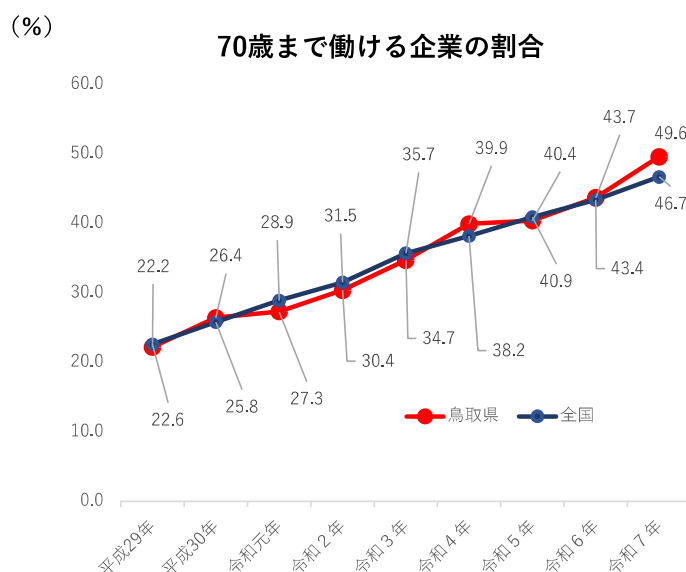
15 高齢者の有業率等

多様な人材の活躍状況

- 鳥取県の高齢者の有業率は全国より高いが、雇用者の割合は全国より低い。
- 70歳以上まで働ける制度のある企業は5割程度。



資料出所：総務省「令和4年就業構造基本調査」



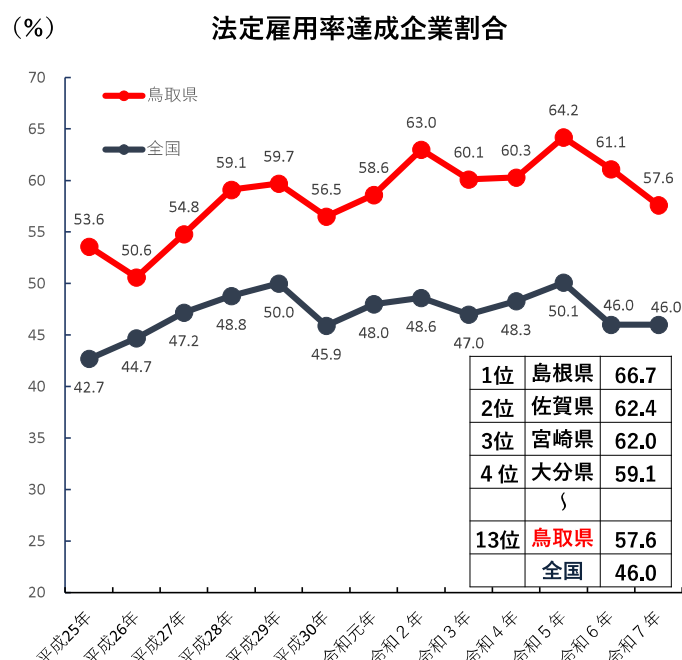
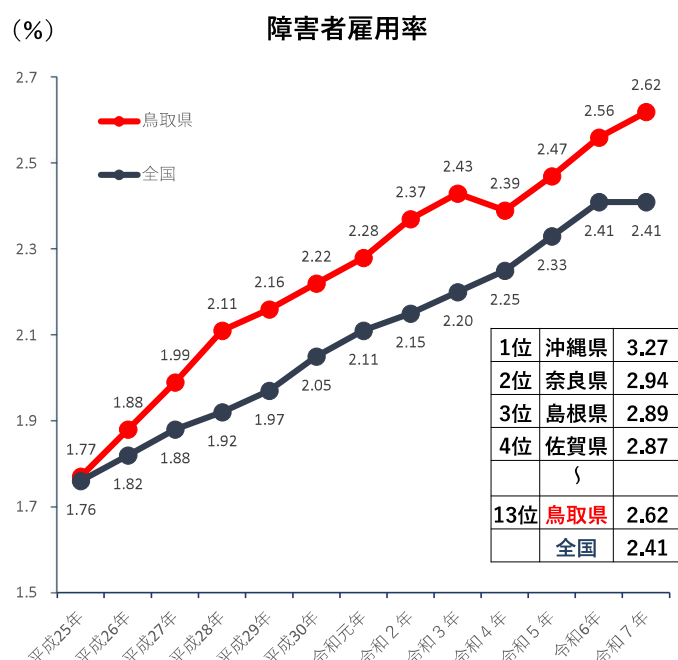
(注) 31人以上規模の企業

資料出所：鳥取労働局「高年齢者雇用状況報告」

16 障害者雇用率

多様な人材の活躍状況

- 鳥取県の障害者雇用率は全国平均を上回って推移している。
- 鳥取県の法定雇用率達成企業の割合はおおむね全国より10ポイント以上高い。



資料出所：厚生労働省「障害者雇用状況の集計結果」